

第2回東海ニューテクノフォーラム

平成21年5月18日
館長 浅井 滋生

第2回東海ニューテクノフォーラムのご案内

～表面・界面科学と産業応用～

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、(独)科学技術振興機構JSTイノベーションプラザ東海では、「産業ニーズを出発点とする大学シーズの探索」をベクトル方向とする新たな産学連携モデルの構築の一環として、「東海ニューテクノフォーラム(趣意書裏面参照)」を開催いたします。第2回目の今回は、主テーマとして「**表面・界面科学と産業応用**」について、東海3県の各大学が推薦する独自技術・新技術を、コーディネータが企業ニーズを踏まえて説明し、大学等と企業との交流を図ります。

また本フォーラムでは、紹介された各大学の独自技術・新技術について、マッチングや可能性の検討をコーディネータに繋いで実用化の推進を図っていきます。

ご多用中とは存じますが、ご来聴くださいますようご案内申し上げます。

記

- 1. 開催日時** 平成21年6月15日(月) 13時～18時(交流会含む)
- 2. 開催場所** 名古屋銀行協会(名古屋市中区丸の内2-4-2)
- 3. 主催** (独)科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ東海
- 4. 後援** 経済産業省 中部経済産業局
名古屋商工会議所
(予定) 財団法人科学技術交流財団
- 5. 申込み** 別紙の「参加申込書」にご記入のうえ、プラザ東海(担当者: 菊池)までご送付、もしくはプラザ東海HP掲載の申込フォームにてお申込願います。(締切: 6月8日(月))
- 6. 参加費** 無料(ただし、交流会は会費2,000円)

本件に関するお問い合わせ先:(独)科学技術振興機構
JSTイノベーションプラザ東海
事務局長 藤井 浩人

TEL: 052-829-3160

FAX: 052-829-3161

Email: [hfujii@tokai.jst-plaza.jp](mailto:hfuji@tokai.jst-plaza.jp)

第2回東海ニューテクノロジーフォーラム

プレゼンテーション (A) 発表者・発表シーズ・(研究者)

- 13:15(A-1) 三重大学社会連携研究センター 助教 加藤 貴也
刺激応答性コロイダル修飾シリカの調整と応答
(三重大学大学院 工学研究科分子素材工学専攻 助教 野村 伸志)
- 13:20(A-2) 名古屋市立大学 事務局学術課・副係長 林 泰司
荷電コロイド結晶の作成方法と実用化
(名古屋市立大学大学院薬学研究科コロイド・高分子物性分野 教授 山中 淳平)
- 13:25(A-3) JST イノベーションプラザ岐阜 科学技術コーディネータ 前田 喜朗
微粒子表面制御による機能発現 (岐阜薬科大学 教授 竹内 洋文)
- 13:30(A-4) JST イノベーションプラザ東海 科学技術コーディネータ 原田 省三
インクジェット方式による高粘度液滴の吐出
(鈴鹿工業高等専門学校 機械工学科 講師 藤松 孝裕)
- 13:35(A-5) 三重大学 産学連携コーディネーター 新原 英雄
高次促進酸化法による有害化学物質の高効率分解法の開発
(三重大学大学院 工学研究科 助教 勝又 英之)
- 13:40(A-6) 愛知工業大学 総合技術研究所 客員教授 熊沢 英博
粘土瓦の再生循環システムの構築とリサイクル粘土瓦の開発
(愛知工業大学 工学部応用化学科 教授 小林 雄一)
- 13:45(A-7) 中部大学 研究支援センター 教授 コーディネータ 木本 博
微粒子衝突表面創製技術 (中部大学 工学部機械工学科 教授 加賀谷 忠治)
- 13:50(A-8) 大同大学 研究・産学連携支援室 清水 孝純
反射電子回折によるその場表面構造解析法
(大同大学 工学部電気電子工学科 教授 堀尾 吉巳)
- 13:55(A-9) 岐阜工業高等専門学校 文部科学省産学官連携コーディネータ 杉山 正晴
エアレーションと電子供与体管理が不要な低コスト型窒素除去システム
(岐阜工業高等専門学校 環境都市工学科 講師 角野 晴彦)
- 14:00(A-10) JST イノベーションプラザ東海 科学技術コーディネータ 杉山 聡
高濃度の窒素原子を用いる「アトム窒化」法の開発 (豊田工業大学 工学部教授 原 民夫)
- 14:05(A-11) 名古屋工業大学 地域連携コーディネーター 岩間 紀男
静電植毛により創成した微細溝構造による流動抵抗低減技術
(名古屋工業大学大学院 工学研究科機能工学専攻 助教 玉野 慎司)
- 14:10(A-12) 三重大学 社会連携研究センター 産学官連携研究員 平林 典久
光誘起電流のトンネル現象を応用した固体間潤滑油の評価法
(三重大学大学院 工学研究科准教授 小竹 茂夫)
- 14:15(A-13) 名城大学 学術支援センター 科学技術コーディネータ 松吉 恭裕
硬質金鍍金膜の開発と耐摩耗部材への応用 (名城大学 理工学部 准教授 宇佐美 初彦)
- 14:20(A-14) 鈴鹿工業高等専門学校 文部科学省産学官連携コーディネータ 澄野 久生
磁気反発型リミットスイッチ (鈴鹿工業高等専門学校 電気電子工学科 講師 西村 一寛)
- 14:25(A-15) 岐阜大学 産官学融合本部 産官学連携コーディネータ 馬場 大輔
ナノ細線配列磁気センサーアレイ (岐阜大学 工学部機能材料工学科 教授 嶋 睦宏)

14:35~15:05 ポスターセッション(A)

第2回東海ニューテクノフォーラム

プレゼンテーション (B) 発表者・発表シーズ・(研究者)

- 15:15(B-1) 株式会社三重 TLO NEDO フェロー 齋木 里文
次世代ハイブリドーマテクノロジー (三重大学大学院 工学研究科 教授 富田 昌弘)
- 15:20(B-2) 鈴鹿工業高等専門学校 文部科学省産学官連携コーディネータ 澄野 久生
廃液を活用した細胞培養を向上させる新規添加剤の製造法
(鈴鹿工業高等専門学校 生物応用化学科 助教 小川 亜希子)
- 15:25(B-3) 名城大学 学術支援センター 科学技術コーディネータ 松吉 恭裕
食品中の抗う蝕因子の解明とそのメカニズムの解析
(名城大学 農学部 教授 小原 章裕)
- 15:30(B-4) JST イノベーションブランチ三重 科学技術コーディネータ 湯浅 幸久
抗菌性すず-銀合金皮膜の製造方法
(鈴鹿工業高等専門学校 材料工学科 教授 兼松 秀行)
- 15:35(B-5) JST イノベーションブランチ岐阜 科学技術コーディネータ 前田 喜朗
可視光応答型光触媒を添加した超撥水抗菌防汚材料
(大同大学 情報学部情報デザイン学科 教授 山内 五郎)
- 15:40(B-6) 豊田工業大学 研究支援部 部長 後藤 文夫
表面・界面によるナノ構造・量子構造の電子物性制御
(豊田工業大学大学院 工学研究科 教授 神谷 格)
- 15:45(B-7) 名古屋大学 産学官連携推進本部 国際連携部 特任講師 井門 孝治
ハイドロゲル表面への光応答基の導入と表面濡れ性の光制御
(名古屋大学大学院 工学研究科 助教 永野 修作)
- 15:50(B-8) 岐阜大学 産官学融合本部 知財マネージャー 神谷 英昭
注釈表示装置およびこれを用いた注釈表示システム
(岐阜大学 工学部応用情報学科メディア情報 准教授 木島 竜吾)
- 15:55(B-9) 豊橋技術科学大学 産学連携推進本部 特任准教授・知的財産部リーダー
富田 充
界面を活かしたイオンセンシング (豊橋技術科学大学 物質工学系 准教授 服部 敏明)
- 16:00(B-10) 中部大学研究支援センター 教授 コーディネータ 木本 博
大気圧プラズマによる表面改質 (中部大学 工学部電気システム工学科 教授 山口 作太郎)
- 16:05(B-11) 大同大学 研究・産学連携支援室 清水 孝純
表面波プラズマを用いた強磁性金属内包カーボンナノカプセルの合成と応用
(大同大学 工学部電気電子工学科 教授 神保 睦子)
- 16:10(B-12) 岐阜工業高等専門学校 文部科学省産学官連携コーディネータ 杉山 正晴
酸化チタン(光触媒)を含む粒子充填層を用いた大気圧放電プラズマによる
オゾン生成 (岐阜工業高等専門学校 機械工学科 教授 石丸 和博)
- 16:15(B-13) JST イノベーションプラザ東海 科学技術コーディネータ 杉山 聡
放射光を用いた半導体結晶表面の格子歪み評価
(豊田工業高等専門学校 准教授 榎本 貴志)
- 16:20(B-14) JST イノベーションプラザ東海 科学技術コーディネータ 原田 省三
非線形ばね SAT (鈴鹿工業高等専門学校 機械工学科 准教授 白井 達也)

16:30~17:00 ポスターセッション(B)

第2回東海ニューテクノロジーフォーラム

東海ニューテクノロジーフォーラム 趣旨

近年、東海地域におけるものづくり企業の集積に基づいた状況下で、製品の性能、品質、信頼性が高度化し、あらゆる分野において高い技術レベルが企業に求められており、そのため新しい技術情報は従来以上に重要となっています。

一方、各大学におかれては、科学技術コーディネータや特任教授がシーズを企業に転ずる活動を活発化されています。

JSTイノベーションプラザ東海においては、各大学等研究機関から生まれる独創的研究成果に注力しています。この度、コーディネータが収集する大学シーズを組織的に企業ニーズにマッチングさせる取組を開始することにしました。その第一弾として、コーディネータが大学等のシーズを企業の皆様方に企業ニーズを踏まえて説明する場として、「東海ニューテクノロジーフォーラム」を開催します。

本フォーラムでは各大学のコーディネータ、特任教授に一堂に会していただき、ある技術分野に特化して、各大学の独自技術・新技術を紹介いただき、その後のポスターセッションではシーズ所有者である研究者にもご参加いただいたうえで、企業の皆様方と交流を図ります。また本フォーラムでは、紹介された各大学の独自技術・新技術について、マッチングや可能性の検討をコーディネータに繋いで実用化を推進していきます。

東海ニューテクノロジーフォーラムに参加するコーディネータ、大学等研究者、企業関係者の皆様方の力を借りて、新たな産学連携モデルの構築を目指してまいります。